

第3回魚津市室内温水プール整備基本計画策定に係るワークショップ 記録

1 日時 令和3年7月16日（金）午後7時から

2 会場 市役所第一分庁舎2階会議室

3 出席者

- ・委員 吉田、廣瀬、三田、上田、南日、石崎、愛宕、佐々木、青山、山本
- ・事務局 事務局、岡本

4 会議録

（1）挨拶（山本課長）

- ・第3回目のワークショップよろしくお願いします。

（2）第2回ワークショップでの意見等について（事務局より）

- ・記録及び各班の室内温水プール整備基本計画・基本方針検討シートの説明

（3）意見交換

〔委員〕

- ・他市等のプールには、入水用のスロープや階段はあるのか。

〔委員〕

- ・公認プールには無い。富山市民プールの25mプールには2～3段の階段はある。障がい者の大会で利用していたのを見たことがある。また、車いす用のスロープを見たことがある。

〔事務局〕

- ・現在の室内温水プールで、障がい者等の利用状況は。

〔委員〕

- ・障がい者を対象とした教室を年間1～2回行っている。主に知的障がい者が多い。車いすでの参加者はいない。

〔委員〕

- ・一般利用で車いすの方は来る。介助者も一緒に来館し、小プールを利用されている。

〔事務局〕

- ・小プールの大きさや利用状況についてはどうですか。

〔委員〕

- ・小学校の授業利用で、1～2年生が40～50人利用している。泳げない子の練習で必要。

〔委員〕

- ・今後学校の水泳授業の利用が増えてくると、大規模校で1学年100人くらいが利用することになる。学校ではクラス毎に分散してプールを利用しているが、温水プールになると多人数での利用を想定しなければいけない。

〔事務局〕

- ・小プールの形は、長方形がよいのか正方形がよいのか。

〔委員〕

- ・正方形がよい。どちらの方向からも等距離にあり、分散して指導することができる。

〔事務局〕

- ・小学校プールの水深と現温水プールの水深の違いは。

〔委員〕

- ・小学校プールの水深の方が浅い。小プールの必要性は今後高くなる。

〔事務局〕

- ・公認プールについては。

〔委員〕

- ・現在の公認プールの水深は 1.35m で、以前の規定よりも深くなった。また、排水の関係でプール中央に向かって深くなる形状が必要と思う。

〔事務局〕

- ・水深を浅くするため、プールの中に台を入れて利用する方法と、一つのプール内で水深を変えて整備する方法があると考えている。

〔事務局〕

- ・メンテナンスや維持管理の面ではどうか。

〔委員〕

- ・ありそドームでは、再利用エネルギー等の利用はあるか？

〔委員〕

- ・魚津市浄化センターで処理された下水処理水の熱エネルギーをヒートポンプの熱源として空調を行っている。

〔委員〕

- ・学校授業で使うコンセプトとして足りないものはないか。

〔委員〕

- ・基本方針の「スポーツ振興の拠点」では、大会の開催や競技レベルの向上になると考える。大会を行うにあたり、意見交換資料（５）安全・安心なプールの機能・整備面に記載の事務室は広さが必要になる。ありそドームの部屋の利用を想定しているが、引率の顧問等が生徒と離れた場所での会議となると不安な面もある。

〔事務局〕

- ・事務室にこだわらず、多目的室の有効的な活用方法を今後検討する。
- ・公認プールが必要になる大会に関しては他市町村のプール使用となる。公認基準を満たすレーンを数レーン整備することについては検討する。

〔委員〕

- ・小学校利用の視点ではどうですか

〔委員〕

- ・室内温水プールの利用は、天候に左右されず利用できる。また、専門的な指導者が確保されており担任も助かっている。児童にとっては、泳力がつき、伸ばすことはできるが、水で遊ぶことや親しむことについては、遠くなってしまうと考える。

〔委員〕

- ・監視員の配置等で決まりはあるのか。

〔委員〕

- ・基本監視員は、常時 1 名配置している。夏休み等利用者が多い時期は人を増やし対応している。

〔委員〕

- ・過去、多くの利用者がいた時には 30 分ごとに全員をプールから上げていた。

〔委員〕

- ・保育園の利用ではどうですか。

〔委員〕

- ・他市のプールでは2階から見学できる構造になっている。必要となる見学スペースや会議室等についてどのように考えるか。

〔委員〕

- ・大会を開催すると、20～30名の役員が必要となる。

〔委員〕

- ・現在、保育園の子供は更衣室前のスペースで着替えを行っている。保育園児が着替えできるスペースやカーテン等の仕切りがあるとよい。保育士が安心して見守ったりお世話をしたりすることができる。

〔木委員〕

- ・小学校の着替えはどのように行っていますか。

〔委員〕

- ・行は学校で着替えている。帰りはプールでの着替えになるので80～90人の着替えとなり、大人数の利用が予想される。

〔委員〕

- ・親の意見として、見学できるスペース、外から見る事ができるスペースは必要。子供が泳いでいる姿を見たい。子供の成長を感じることができる。

〔事務局〕

- ・夏休みのプール開放の現状は。

〔委員〕

- ・学校では、午後からプールを開放している。温水プールになると保護者の送迎となる。午前中からのプール利用については、何とも言えない。
- ・ここ数年、屋外プールでは、熱中症対策が大変。テントを準備したり、プールの水温を下げるため給水したりする等、教職員が毎日対応している。これを考えると室内温水プールがよい。熱中症の暑さ指数でプール開放を中止したこともあった。

〔委員〕

- ・授業では、例年の6～7月の利用だけでなく、長いスパンで利用を想定する必要がある。

〔事務局〕

- ・これらの意見を参考に、まとめていきたいと思います。会議結果については、ホームページに掲載します。
- ・利用者の生の声として、現市民プール利用者にアンケートを8月末まで実施しています。
- ・今後は、このWSでの意見やアンケート結果をもとに、整備基本計画を策定します。来年度は設計を行う予定としています。
- ・限られた財源の中で、真に必要な整備を行っていくということ、すべての意見を取り入れることは不可能であることも併せて理解してほしい。

(5) 挨拶（山本課長）

- ・本日はありがとうございました。委員の皆様から頂いた意見を参考に進めていきます。また、随時途中経過もお知らせしながら進めていきます。
- ・自分の意見がどう採用されたかを確認して頂ければと思います。

終了